

ファンケル ニュースレター

2008.7.30 Vol.4

ご質問・お問合せ(担当 広報・大塚)

TEL 045-226-1230

FAX 045-226-1202

E-mail ootsuka@fancl.co.jp

〒231-8528 横浜市中区山下町 89-1

今月の特集

ファンケルグループ、新体制スタート！

本年5月1日より代表取締役会長に宮島和美が、代表取締役社長に成松義文が就任し、ファンケルの新体制がスタートしました。今後の展望を新社長の成松にインタビューしました。

今月のトピックス

株主総会レポート

～昨年を上回る3,825名の株主が出席～



写真:6月15日、都内で開催された「第28期定時株主総会」での1コマ

特集

ファンケルグループ、新体制スタート！

～「新しい価値＝感動品質2010」達成に向けて舵を取る、新社長の成松に迫る～

2008年6月15日、ファンケルの第4代社長に成松義文が就任しました。成松は、93年にファンケル入社後、サプリメント事業の立ち上げを皮切りに、主要部門の責任者を務めました。今後、お客様との信頼関係を強化しつつ会社を再び成長軌道に乗せるというミッションをリードしていきます。今回は、新社長の経歴やこれまでのビジネス経験で培われた哲学などをご紹介します。

成松は、1950年6月30日岐阜県大垣市生まれ。大垣北高校を経て、横浜市立大学商学部に入りました。1974年3月に卒業後、同年4月訪問販売大手の蛇の目シン工業に入社します。蛇の目では、直営支店の管轄など、営業畑を進み、2,000人を抱える組合の長なども務めました。



成松義文 なりまつ・よしふみ
株式会社ファンケル
代表取締役社長執行役員

ファンケルとの出会いは商品の共同開発

ファンケルとの縁が出来る大きな転機は、ファンケルと蛇の目の提携です。「ミシンは耐久消費財ですから、一度買っていただいたら、20年くらいは売れない。また、当時すでに女性がミシンで服をつくる文化が衰退していました。そこでリピートを見込める新規商材として、化粧品に注目した訳です。当時蛇の目には、約3,000人のセールスマンがいましたが、このうち半数は女性で取り扱いやすいメリットもありました」

共同開発した化粧品のブランド名は「シクレール」。ファンケルが開発・生産し、蛇の目の販売網で拡販していく計画でした。ところが、計画は2年あまりで頓挫します。蛇の目ミシンが仕手筋からの株の買占めなどで、経営が混乱。結局、銀行管理下で再建することになり、同時に多角化路線も見直し、本業に集中する方針を決めたからです。

事の経緯は、創業者で当時社長だった池森賢二（現名誉会長）の知るところとなり、「すぐうちに来なさい」というラブコールでファンケルに入社となりました。

入社後、サプリメント事業の立ち上げを任される

93年に入社後、任されたのが、サプリメント事業の立ち上げです。今でこそ、サプリメント事業は、300億円超の規模で、化粧品と並ぶ当社の基幹事業となっていますが、当時はまだ世に問う前です。将来の基幹事業の立ち上げという重要な仕事を入社後間もなく任されたことが、まず驚きだったといいます。さらに、オーナー創業者の経営に直に触れることで、次々とそれまでの常識が覆され、価値観が変わるほどの衝撃を受けたと振り返ります。

「サプリメント事業を始めるにあたり『価格破壊』を掲げました。当時の健康食品は、高いから効くという考え方に支配されていました。これに対し、毎日摂取するものであるから国際的に見て妥当な適正価格であるべきというアンチテーゼをぶつけた訳です。新しい市場と価値をつくる仕事でした」

参入時の社内的な布陣も驚きでした。「最初にいきなり28品目を上市しました。普通なら、まず売れ筋の5品目程度を出して様子を見ると。ところが池森は『品目数が少ないと、当社製品で全てをまかないきれずに、他社製品を購入する方が出る。お客様には二度手間になる』と一気にフルラインで展開しました」。

さらに、事業スタートからサプリメントの自社工場を構えたことも「それまでのサラリーマン的な発想の常識では、考えられないことだった」と振り返ります。



サプリメント事業スタート時の商品パッケージ



当時、大きな話題になった「価格破壊宣言」の新聞広告

創業者、池森賢二から得たもの

投資の額も桁違いでした。「池森は、発売直後にコールセンターに寄せられるお客様の反応を見て、広告宣伝費をいきなり10億円増やしました。当時はまだ年商が200億円くらいですから、かなりの投資規模です。それを即断した。創業者独特のカンで『これはいける』と踏んだのだと思います」

さらに印象深いこととして、薬事法対応の問題がありました。サプリメントは、薬事法により、医薬品のような効能効果を標ぼうすることが禁じられています。しかし、今に至るまで、サプリメントの表示には明確なルールがなく、お客様のニーズと規制のあり方には、大きな乖離が生じています。このため、当時責任者として、どうすべきが悩んでいたところ、池森(当時社長)は「正しいと思うことをおもいっきりやれ」と指示を出したそうです。「この一言でふっきれた。経営とはリスクとどう向き合うかです。そのビジネスに社会的な価値があるという信念があれば、リスクに向かっていけるということを教えてもらいました」



1996年、初の海外店舗となる香港店のオープンセレモニーで
(右から2人目が本人、左隣は池森)

「新しい価値=感動品質2010」の達成に向けて

入社直後から、直接創業オーナーから薫陶を受けた成松は、サプリメント事業のほか、直営店舗運営、化粧品事業、カスタマーリレーション、製造、研究統括などで責任者を務め、今回、ファンケルの第4代社長に就任しました。こうした経験を経た成松の経営哲学は『周りと連帯して仕事をする』こと。

「自分一人のできる仕事には限界があります。だから、自分の考えを同僚や部下に、深いレベルで理解、共感してもらい一緒に仕事をする。そうすることで、よりスケールが大きく、深みのある仕事ができるのだと思います」

今後、成松は、お客様との信頼関係の強化を大きな課題とする新中期3ヵ年経営計画「新しい価値=感動品質2010」の達成に向け、ファンケルをリードしていきます。また、若手社員の教育にも力を入れていく考えです。新社長がけん引するファンケルに、どうぞご期待ください！！

「ファンケルクラシック ブログ」期間限定で公開中！

“シニアの元気は、日本の元気！”をスローガンに、シニアのプロゴルフツアー『ファンケルクラシック』(主催:株式会社ファンケル、社団法人日本プロゴルフ協会)が、8月22日から24日までの3日間、静岡県裾野市の「裾野カントリー倶楽部」で開催されますが、ツアー開催に先駆け、8回目を迎える本大会の魅力などを紹介する「ファンケルクラシック ブログ」を、期間限定で公開しています。

本大会に事務局スタッフとして参画するのを機にゴルフを始めた新人広報ウーマンが、大会に向けての社員の取り組みの様子や、ゴルフ・ツアー観戦に関するさまざまな情報、さらには日々の出来事を通じて感じたことなど、自らの体験を生の声でお伝えします。ブログは9月末までの期間限定配信です。

ファンケルクラシック ブログ <http://blog.fancl.co.jp/golf/>



株主総会レポート ～昨年を上回る3,825名の株主が出席～

6月15日、東京都港区のグランドプリンスホテル新高輪で「第28期定時株主総会」が開催されました。ファンケルの株主総会は、1999年11月に株式を一部上場して以来、“開かれた株主総会”を目指し、一人でも多くの株主様にご参加いただけるよう、土曜日または日曜日に開催しています。日曜日の開催となった今年は、昨年(3,547名)を上回る3,825名の株主様に出席いただきました。

総会では、成松義文の代表取締役社長執行役員就任をはじめとする取締役や監査役の選任が採決され、また質疑応答では、各事業に関するものから雇用形態やグループ会社に関するもの、さらには環境対策に至るまで、株主様から多くの質問をいただきました。

当日は総会に加え、ファンケルを身近に感じていただけるよう、別会場に設けた特別展示会で、化粧品・健康食品をはじめグループ会社の活動内容のご紹介や、肌年齢チェック・骨量測定、当社製品を使用したデモンストレーションなどを実施しました。



上：総会会場

下：懇親会会場



株主総会データ

ファンケルグループ 第28期株主総会

所要時間：2時間20分（うち質疑応答1時間15分）

出席株主数：3,825名（昨年3,547名）

質問数：11名20件

新商品

夏の体に、搾りたての新鮮な栄養を
「ケールと果実の充実搾りセット」
数量限定で発売中

国内産ケール100%の青汁と、全国各地から厳選した5種類の果実から搾った果汁100%のセット。汗を多くかき、食欲も落ちやすい夏場でも、しっかりと栄養を補給できます。青汁が苦手な方でも、柑橘系の果物の香りで飲みやすくなっています。

商品(1箱：3,840円、税込)は、スーパー青汁100g×15袋と産地限定果汁100g×15袋の合計30袋入り。6,500箱限定で発売中です。



本件に関するお問合せ先
株式会社ファンケル 広報グループ
担当：大塚
TEL：045-226-1230
FAX：045-226-1202
HP：www.fancl.co.jp